

R-18  
ADULT ONLY

# 憑転の騎士

正義の姫騎士が  
魔王の器に染まり墮ちる時から

# アリスシア


聖華快樂書店

著者 エルトリア 作画 朽葉コキ  
脚本 憑依好きの人


憑依ラヴァー × 聖華快樂書店

サークル  
コラボ作品!

# 憑依悪墮ちファンタジー




アリシア様!  
本当にお一人で  
行かれるのですか!?




魔王軍が今更  
和平交渉……

しかも騎士団長の  
アリシア様のみとなど  
何かの罠に  
間違いありません!



ああ  
それでも私は  
行かねばならん



永きに亘る  
魔族との戦争を  
止められる  
望みがあるならな



ありがとう  
クラウス

ではせめて  
いざという時の  
ために魔王城周辺に  
団員配備を……！！



私の強さは  
お前が一番よく  
わかって  
いるだろうか？

だが  
心配するな



不在中は  
お前が騎士団の  
リーダーだ

私の代わりに  
民を守って  
やってくれ

戻ってきたら  
君に伝えたい  
ことがあるんだ

っ  
っ  
っ

……っ  
アリシア!



だからどうか……  
無事に帰って  
きてくれ……!




……ああ






よく来たな


レイスヴァイン王国の  
騎士団長アリシアよ  
歓迎するぞ




条件通り  
私だけで来たぞ  
魔王




本当に和平を  
結ぶ気が  
あるんだろうな？



もちろんだとも…  
だからこそ  
貴様に敬意を表し



この謁見の間から  
幹部と配下を引き  
払わせたのではないか



これで余計な  
邪魔は入らない



なら  
ようやくこの争いに  
終止符を...

ただし  
ひとつ条件がある

人間の立場を捨て  
我が物となれアリシア



そうすれば  
今すぐにも  
この戦争を  
終わらせてやる

私は強く美しい  
お前が欲しい



...妾にでもなれ  
ということか



どうだ？

貴様の身ひとつで  
決着がつくなら  
安いものだろう？



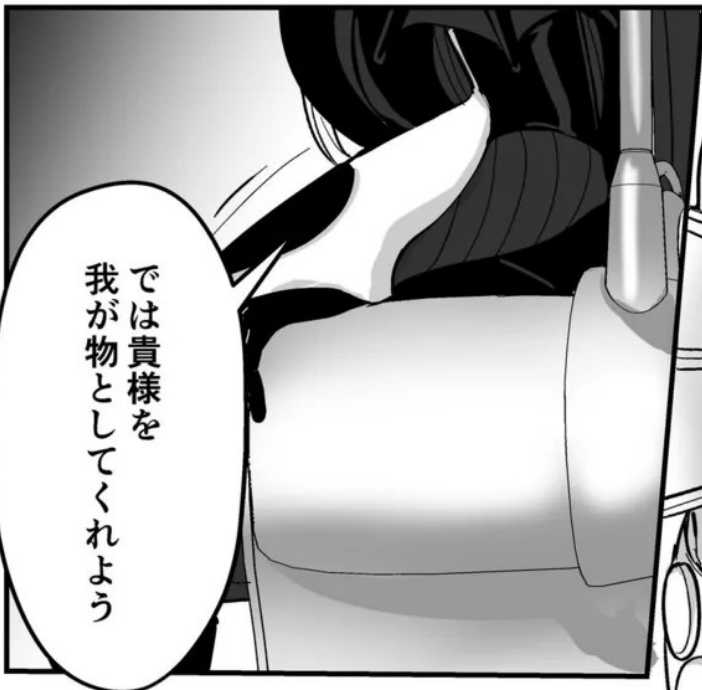
...すまない  
クラウス



どうするアリシア  
今ここで決めろ



...わかった  
その条件を飲もう



では貴様を  
我が物としてくれよう



賢明な判断だな...



ほう...



なんだ



…その前に  
ひとつ聞きたい



娶る…？  
何を勘違いしている



なぜそうまでして  
私を娶ろうと…

なぜ私なんだ？

お前はこれから  
私の新たな器になるのだ

……ッ!?

フハハハッ!  
光栄に思えアリシア!

貴様の身体は  
魔族の頂点たる存在の  
物となるのだからな!!

くっ!



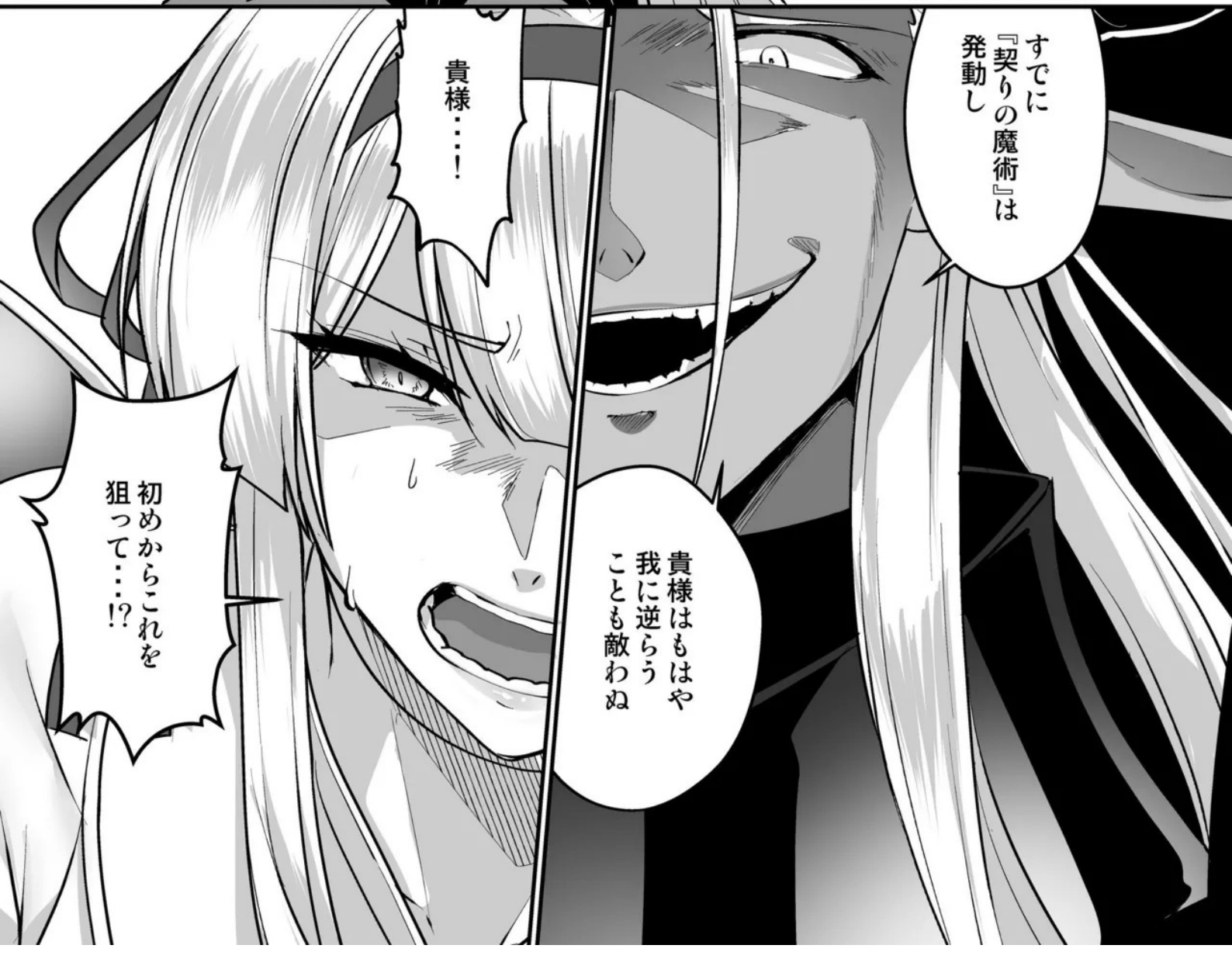
抵抗しようとして  
しても無駄だ

契約は  
先ほどの言葉で  
すでに完了している

する…

くっ！  
なんだこれは…!?

身体に力が…  
入らなッ…!?



すでに  
『契りの魔術』は  
発動し

貴様はもはや  
我に逆らう  
ことも敵わぬ

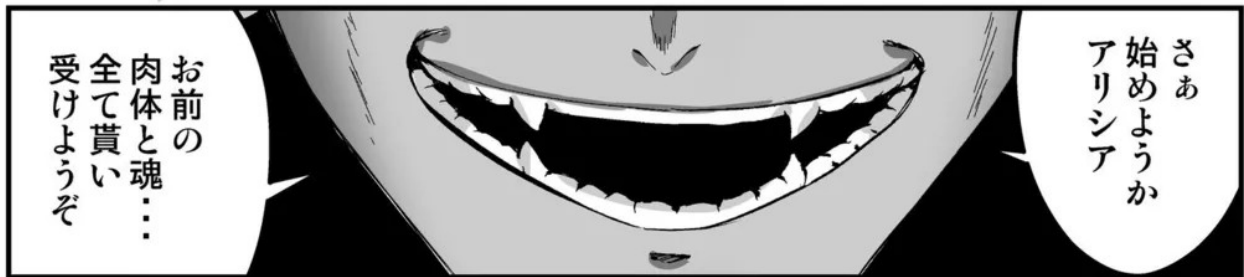
貴様…!!

初めからこれを  
狙って…!?



当然だとも  
全てはこのために  
貴様を招いたのだ

くっ……!!  
卑怯者め……!!



さあ  
始めようか  
アリシア

お前の  
肉体と魂……  
全て貰い  
受けようぞ



ククク……  
この美しい肉体が  
我が物に……

くそっ!!  
放せッ!

実に楽しみだ

ふざけるな……!!

貴様なんか  
この体を渡して  
なるものか……!!



ふん  
ならば試して  
やろう

私の支配に  
抗えるかをな！

LOVE

んぐっ!!  
んんっうー!!

苦しいだろう?  
素直に受け入れれば  
楽になるものを

んっ!  
んんっ!

苦しっ……!  
このままでは  
窒息してしまおう!



ぐうっ……!

おどろ

意識が……  
もう……



健気なものだな……  
だが忘れたか?

する……

貴様は最早  
我に逆らうこと  
などできぬ



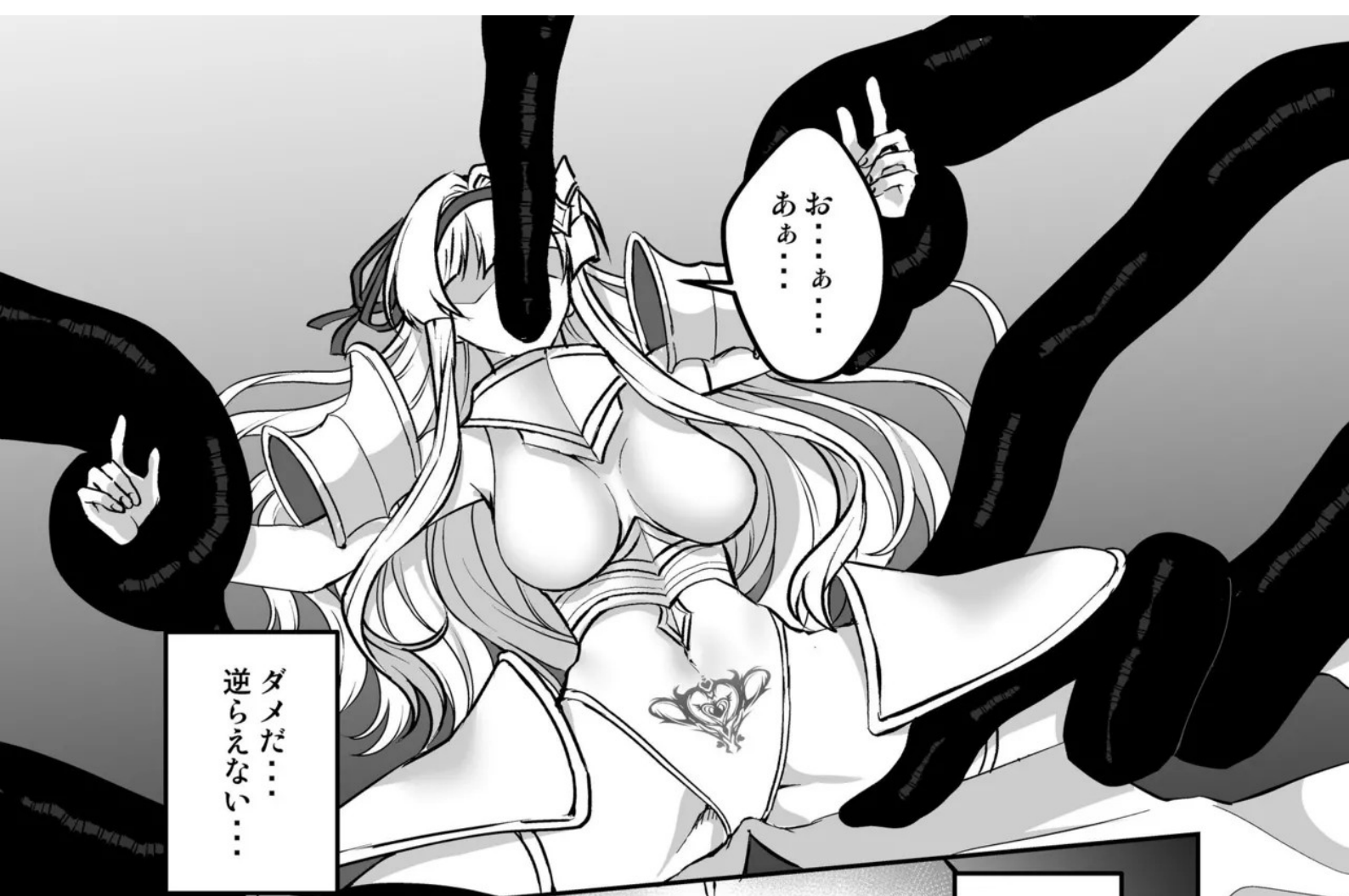
おどろ

んごおおおっ!?

うわっ

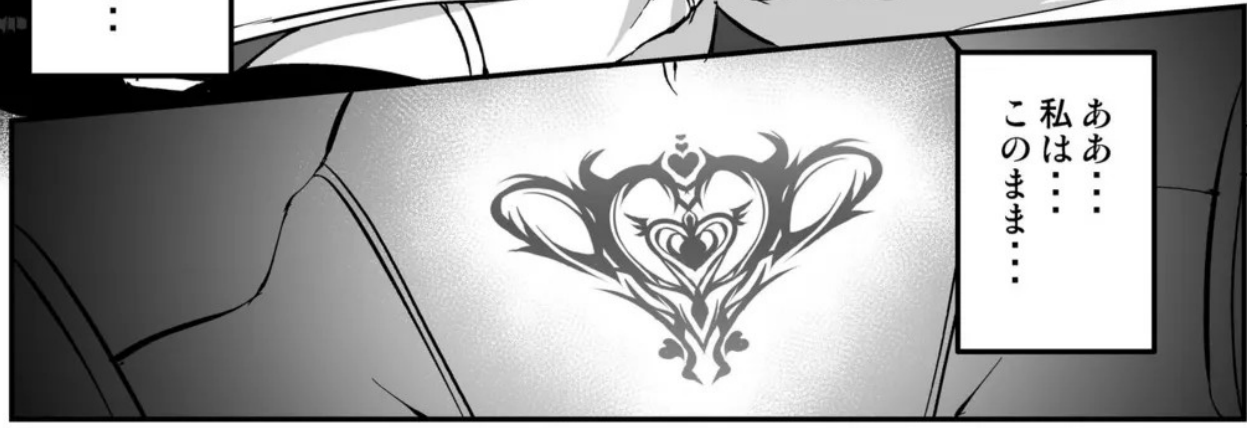


さあ受け入れろ  
そして  
我が物となれ!



お……あ……  
あ……あ……

ダメだ……  
逆らえない……



ああ……  
私は……  
このまま……



クラウス……  
すまない……



んおおおおおおおっ!?



はあつ...  
はあつ...  
はあつ...



くくく…

はははははは！！

遂に手に  
入れたぞ…！！

アリスシア・フォン  
レイスヴァイン！

素晴らしい…  
見事に鍛え上げ  
られた肉体…

人間の身で  
ありながら  
これほどの練度に  
到達するとは…

直接対峙して  
いたら危うかった  
かもしれんな

喜べアリスシア…！！  
望み通り全て  
終わらせてやろう…

だが今や  
この肉体も  
我のもの…

最早恐れる  
ものはない

お前の肉体を  
使って人間共を  
屠ることであ！



だが  
その前に…

貴様の記憶も  
取り込まなく  
てはなあ？



す…

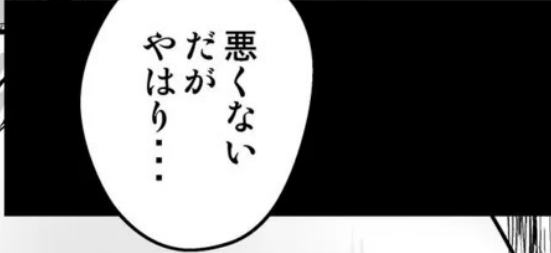
そのためには…  
クク…



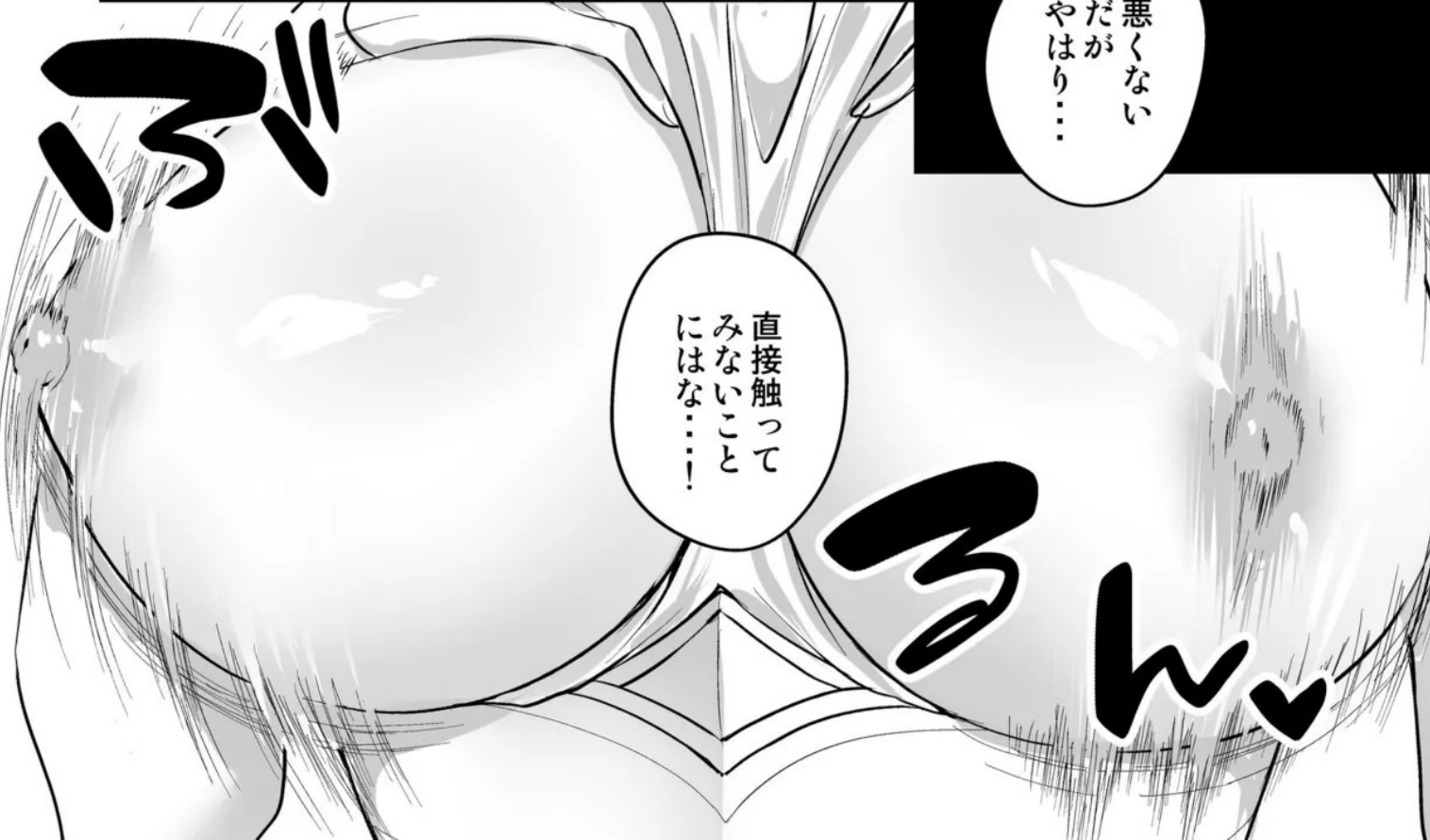
んっ…ふうっ…  
想像通りなかなかの  
揉み心地だ…

はぁ、はぁ

はぁ…あん♡  
これが  
人間の女の快樂  
というものか…



悪くない  
だが  
やはり…



直接触って  
みないこと  
にはな…！

ズッ

ん♡



ほう…  
大きいだけでなく  
形も良い…

どれどれ  
早速…

流石は美しき  
騎士団長の  
肉体だ

ああっ♡

ゴクン♡



イイツ…  
堪らん  
これは…!!

この小娘…  
こんなに敏感  
だとはなっ…!!

はっ♡  
はあん♡

淫魔の才能が  
あるぞ♡

んっ♡あっ♡  
先端をっ…  
弄ると声がっ…

勝手に…ンッ  
漏れてしまっ♡

ソク♡

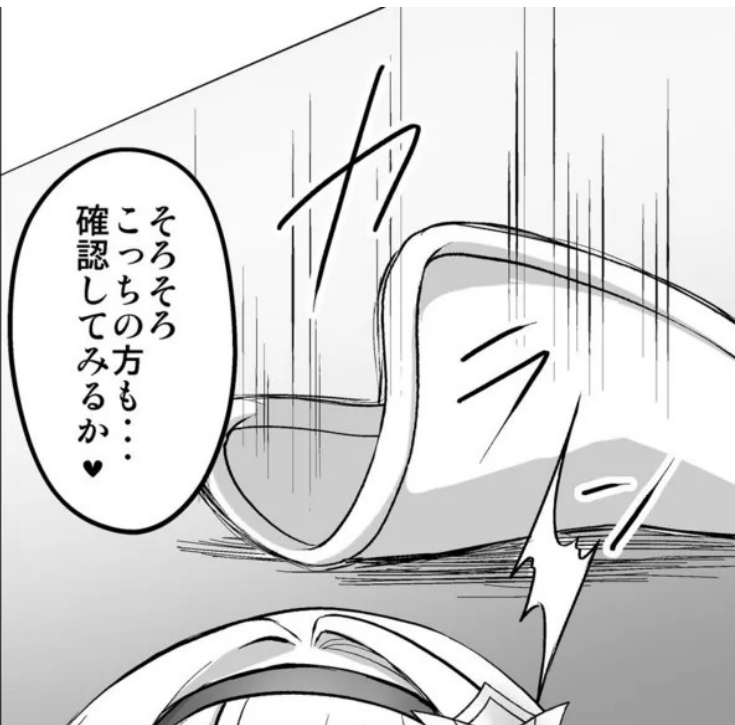
ソク♡





ぬちよお...♡

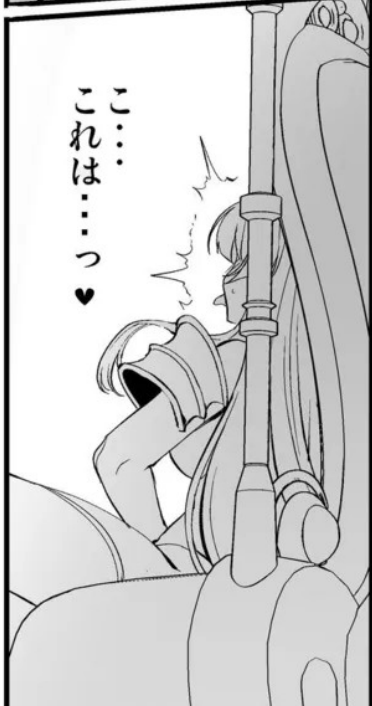
糸を引いている  
じゃないか...  
いやらしい肉体だ



そろそろ  
こっちの方も...  
確認してみるか♡



さて...と  
感度の方は



こ...  
これは...♡



ひやうんツ!♡♡

ひやうんツ!♡♡







これっ…♡♡♡♡♡  
気持ちよすぎ  
るっ!♡♡♡♡♡



良からう…♡♡♡  
このまま  
イカせてやるっ♡



はは…わかるぞっ♡  
アリシア…っん♡  
もうすぐ  
果てるのだな♡



んおおおおおお♡♡♡♡

ガッ♡

ガッ♡

イグウウウウツツ♡♡♡♡♡♡

クッ♡♡

クッ♡♡

ふふふふ...  
ふふふふ...

はあ...♡♡  
はあ...♡♡



なるほど…  
これが『私』の  
記憶か

より一層肉体が  
馴染んだ感じが  
だ

今なら…

クク…  
積み重ねた修練  
さえも我がもの  
なるようだな

もはや『私』の  
中身が変わって  
いることに  
気づく者は  
おるまい

さてこのまま  
クラウスたちの元へ  
戻るのも一興だが…

どうせなら  
徹底的に絶望を  
叩き付けんと  
な

なあ…  
アリシア  
**私**



アリシア!



一週間後



無事だったか!?

ああ大丈夫だ  
心配かけて  
すまなかった



何もされて  
ないよな?  
どこか雰囲気か...



それなら  
いいんだが...



魔王のやつも  
なかなか  
強かな奴で

交渉が  
長引いてしまった

お前の為に  
ここまで  
頑張ったんだぞ？

それに…

私がそんな  
やわんな女では  
ないの分かって  
いるだろう？

ア アリシア…！  
目の前で  
そんなことを  
言われると…！

くっ…  
可愛いやつだな  
お前は…

さて私が帰ったら  
言いたいことが  
あったのだろう？



アリシアア...!  
好きだっ!!

愛してるっ!

ぱんっ♡

んあっ♡ああっ♡  
私もっ♡  
私も愛しているぞっ♡  
クラウスっ♡

ぱんっ♡

ぱんっ♡

ぱんっ♡

クラウス

お前

頼む...!  
もっ♡と突いて  
くれっ♡

奥にっ...  
お前のが届くの  
堪ないんだっ

あうっ♡

はっ♡  
はっ♡

んはああああっ♡  
そこっ♡  
そこっ♡  
最高だクラウスっ♡

おはっ♡



あああゝゝゝっ♡♡♡

イイツ♡イイツ♡  
気持ちいい♡♡♡♡

俺もだっ…  
アリシア!

ギシッ♡

ぽんぽん

ぽんぽん

ギシッ♡

ぽんぽん

ぽんぽん



君のナカが  
気持ちよすぎて…!!  
すぐイキそう…っ

ま待てっ…♡

それなら…♡

うおっ!?

♡♡♡

♡♡♡

ぽんぽん

ぽんぽん

ぎゃんらんらん



私が上になる♡

どうだ…っ♡  
気持ち  
良いかっ…？

なっ♡  
すごく  
イイよっ…！

じゅわん♡



あんっ♡♡  
ふふっ♡♡  
それは♡  
よかつた…

最後だと思って  
じゅわん♡  
堪能してくれ♡  
ああんっ♡



ふああんっ♡  
激しいっ♡  
ああっ♡イクっ♡  
イってしまおうっ♡

くっ…も…  
出るっ…！

出してくれっ♡  
お前の  
熱い精液っ♡

私の一番  
深いところに注いで  
くれえっ♡♡♡

おんっ♡  
あんっ♡  
あんっ♡  
あんっ♡



くく……くくく……  
実によかったぞ  
クラウス……

人間の性交も  
悪くないものだ


ア……  
アリシア……？

っ！？  
ガッ

アリシア……？  
誰だそれは？

貴様の目の前に  
いるのは……

クッ



この魔王で  
あるぞ？人間

その姿は…

それに  
魔王だ?!

ククク…  
我を見抜けず  
間抜けに  
腰を振る  
貴様は  
見もの  
だったぞ

まあ無理もない  
このカラダは  
我が完全に  
支配したのだからな

一週間かけて  
じっくりと  
私の魔力を  
馴染ませ

肉体を魔族の  
ものへと  
作り替えた

もはや貴様が  
知っている  
アリスアなど  
どこにも存在しない





まさか帰りが遅かったのは……!

お前……!  
よくも  
アリシアを!

ぐっ……!

ぬっ……



むしろ感謝なんてほしいくらい

最後にいい夢を見させてやったのだから……

ふざけるな……!  
アリシアを返せ……!

ばた じた

安心しろクラウス……  
くだらん戦争など  
我が終わらせてやる



うあっ！ああっ！  
アリ…シ…ア…！！

だからお前は

安らかに眠れ

ア  
キ  
ハ

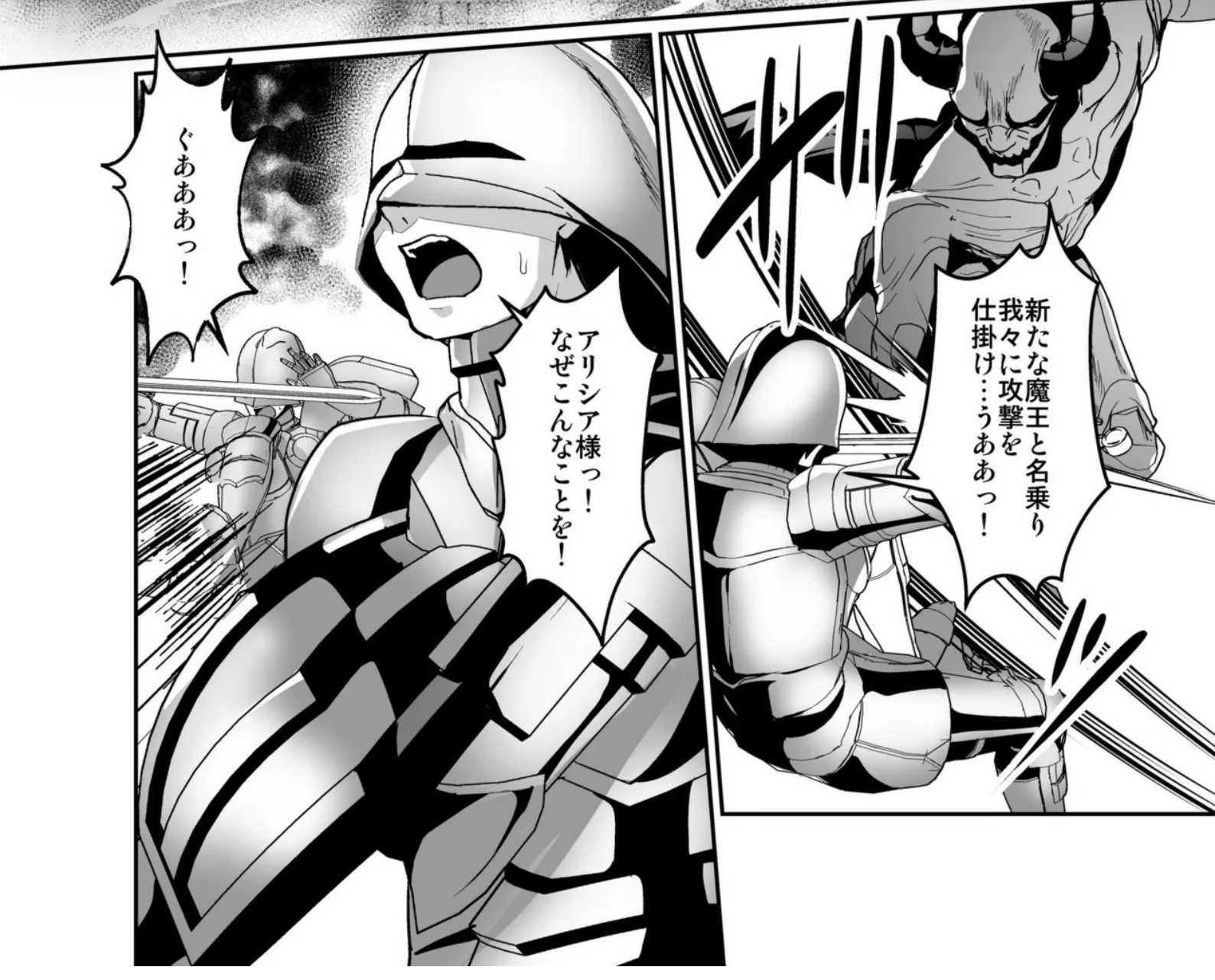
ア  
キ  
ハ



くそっ!  
こんなことに  
なるなんて...!

アリシア様が  
裏切った!

オオオオ



ぐあああつ!

アリシア様っ!  
なぜこんなことを!

新たな魔王と名乗り  
我々に攻撃を  
仕掛け...うああつ!

ふははっ！

いいぞお前たち！  
もつと殺せ！  
蹂躞しろ！

レイスヴァインを  
滅ぼし人間を  
根絶やしに！

魔王アリシアの  
名の下にレイスの  
ヴァインに死を！

ふははははっ！

## あ と が き

お買い上げありがとうございます。作者のエルトリアです。  
姫騎士アリシアのサークルコラボシリーズ最後の作品です！  
今回は個人的にも交友のあるサークル、憑依ラヴァーさんとのコラボ作になります。  
憑依好きさんらしいシナリオに仕上がっていて読者視点でも楽しめました。  
実は企画自体は3年前から動いていて完成まで滅茶苦茶時間が掛かりました。  
流石にこれ以上に時間が掛かる作品はもう出てこないでしょう～(フラグ)  
アリシアシリーズはこれでひと段落したので来年以降は刊行ペースが遅くなると思います。  
次回は要望の多いパラサイト・ラヴァーの続編作ろうかな('ω')

エルトリア

「憑転の騎士アリシア」、ついに完成！  
3年前にプロットを制作したので、僕も新鮮な気持ちで完成品を読むことができました。  
自サークルではファンタジー系の作品をあまり書かないので、少し戸惑いもありましたが、  
最終的にはいつもの憑依ラヴァーの味を出せたと思います！  
楽しんでいただけたら幸いです！  
よかったらうちの作品もぜひご覧ください！

FANZA：<https://dmm.co.jp/dc/doujin/-/list=/article=maker/id=78467/>

憑依好きの人

### 「姫騎士アリシアの受難⑱」

発行日：2025年12月15日

発行者：エルトリア

印刷所：西村謄写堂

連絡先：<https://ci-en.dlsite.com/creator/10273>

聖華快樂書店の各種リンクはこちら



無断転載、複写、複製、配布などの行為を固く禁じます。  
Unauthorized reproduction prohibited

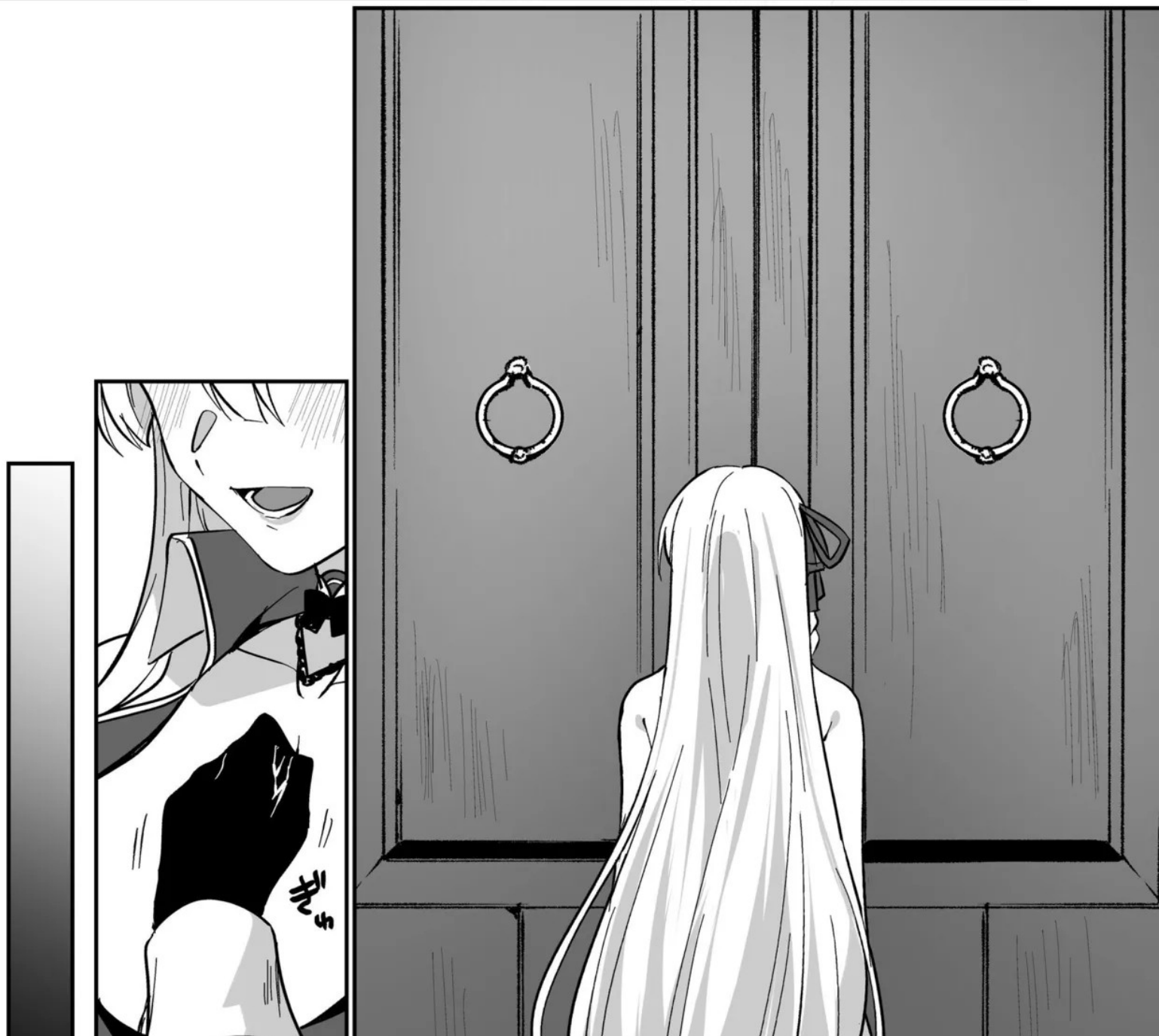
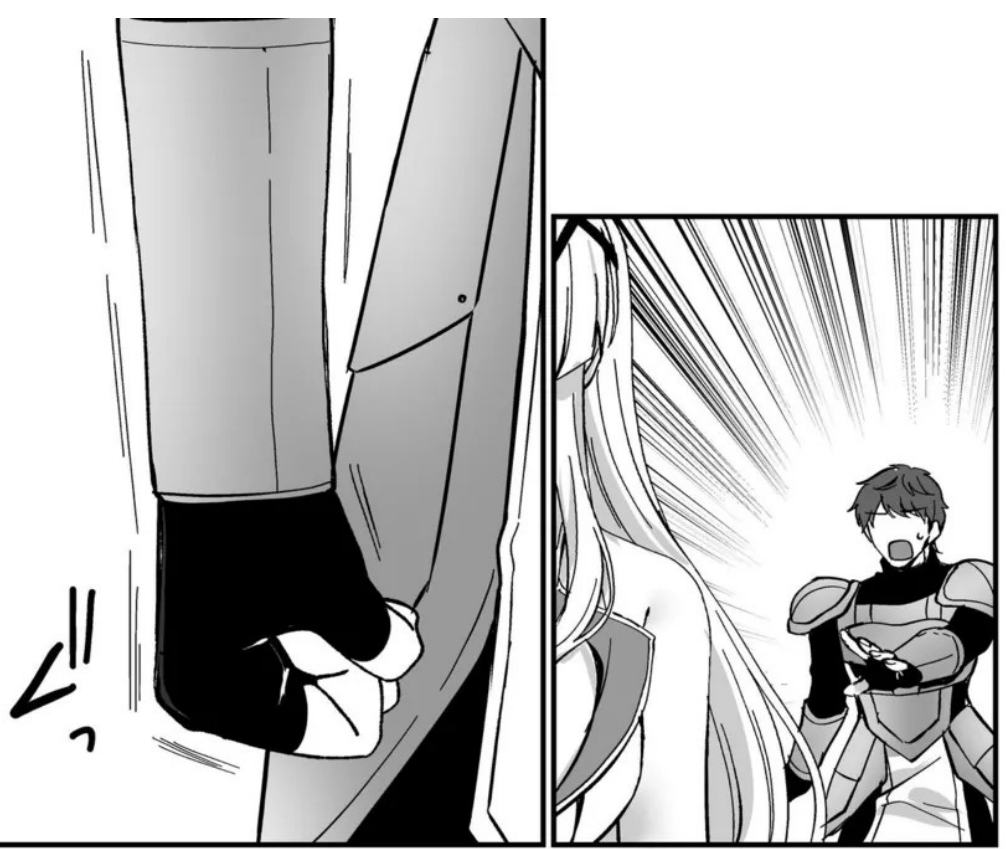


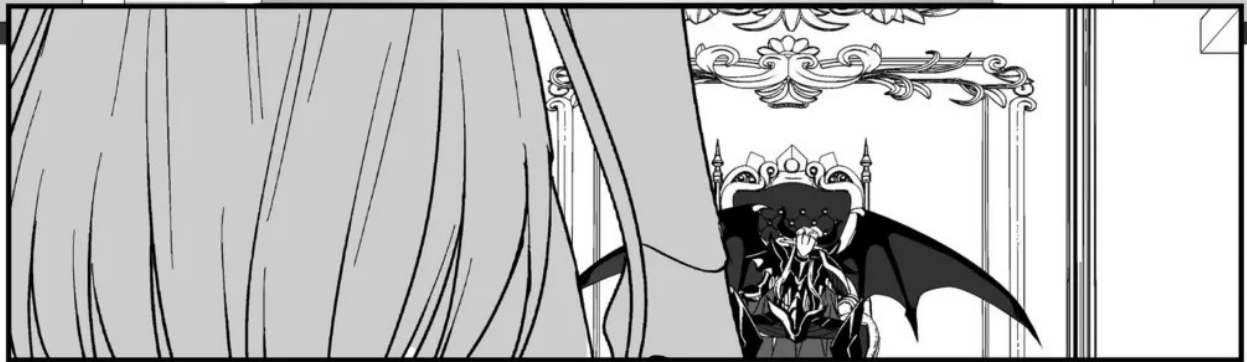
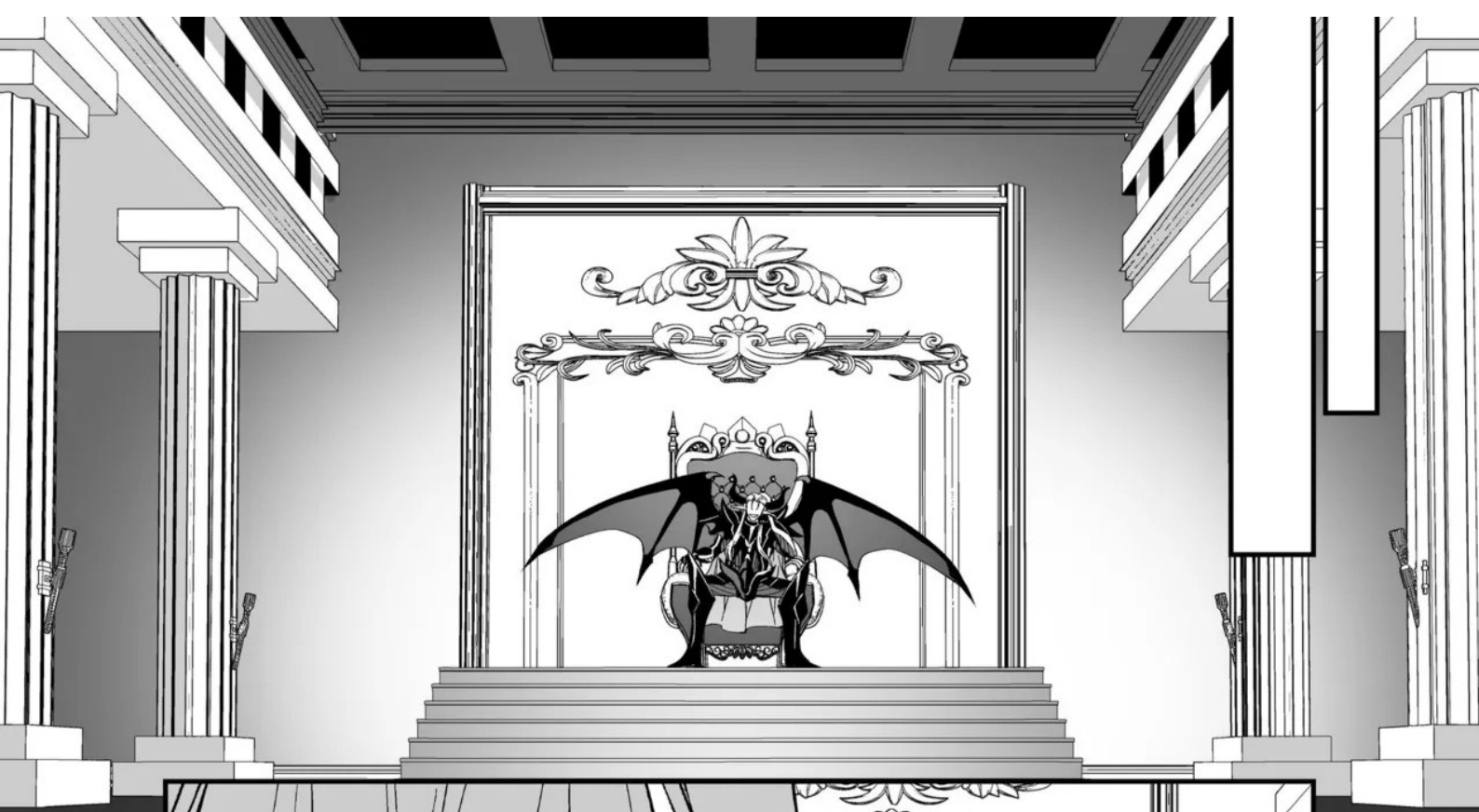


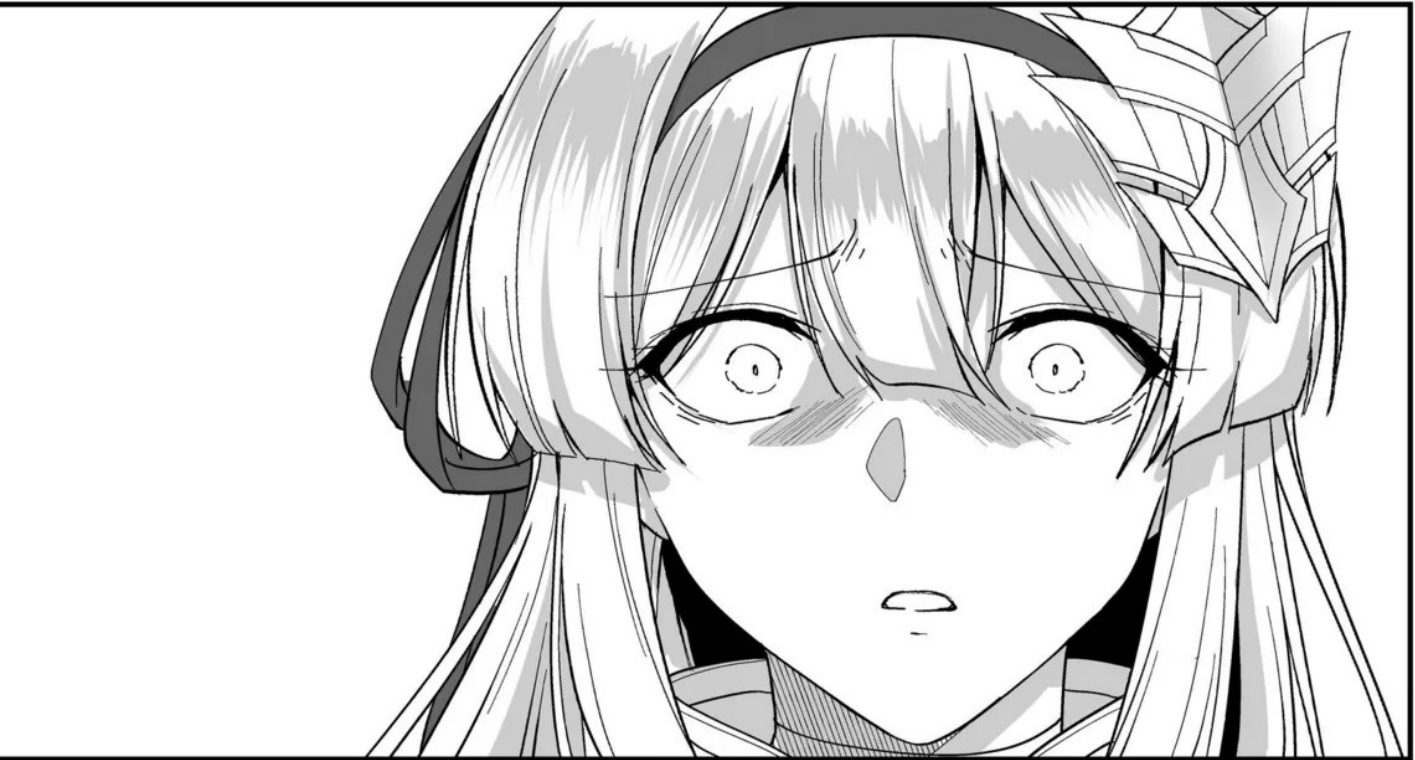
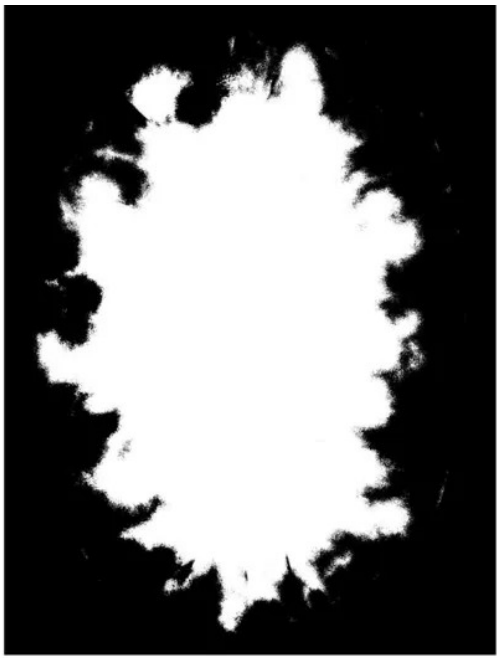


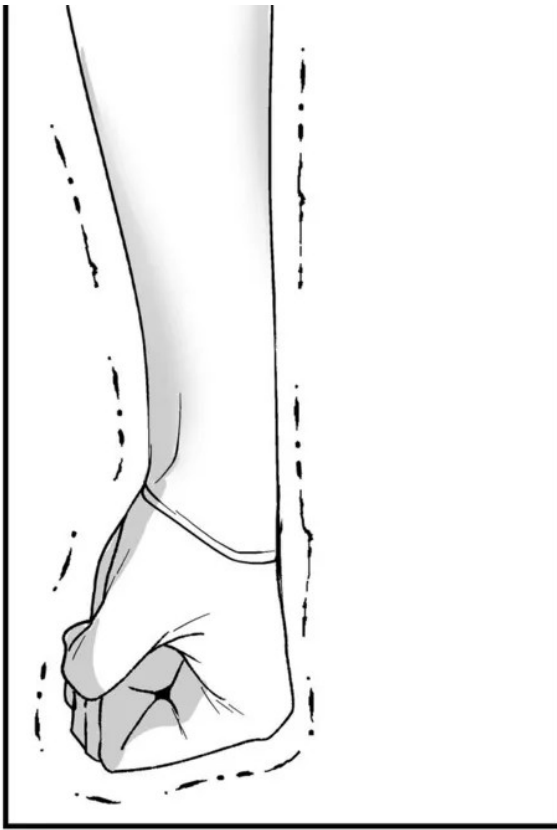




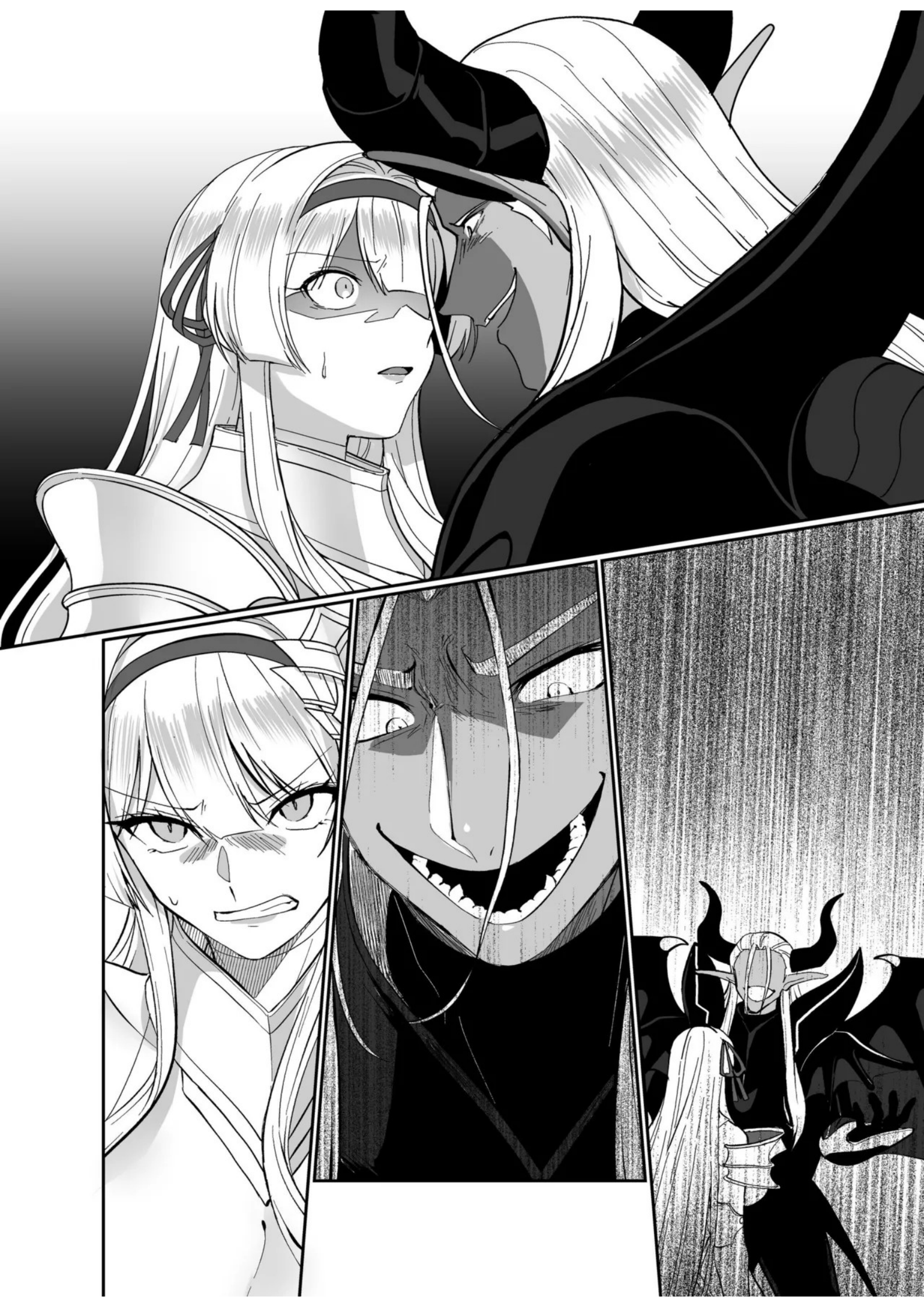


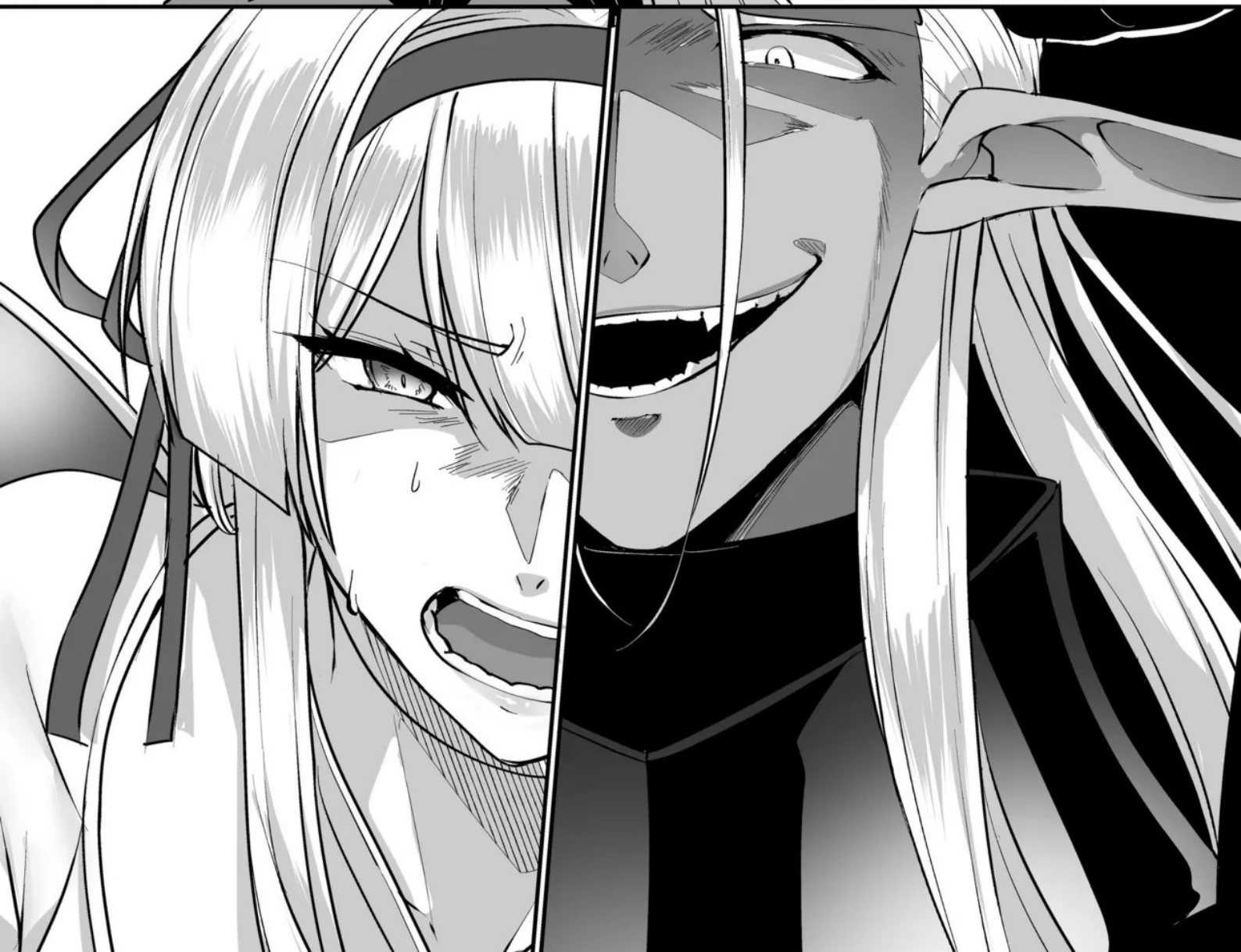


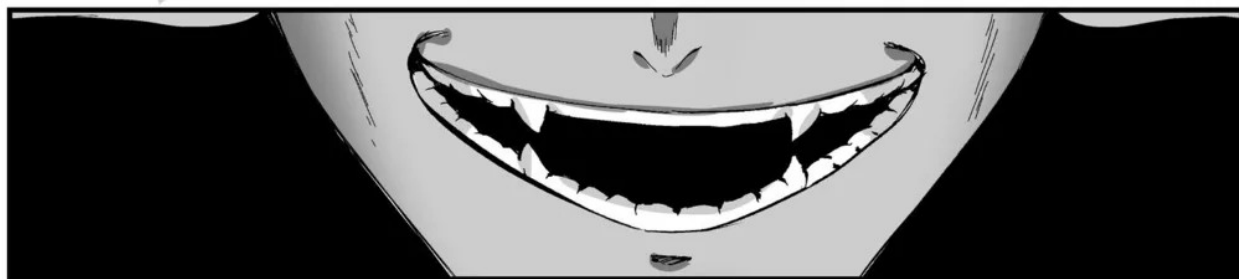




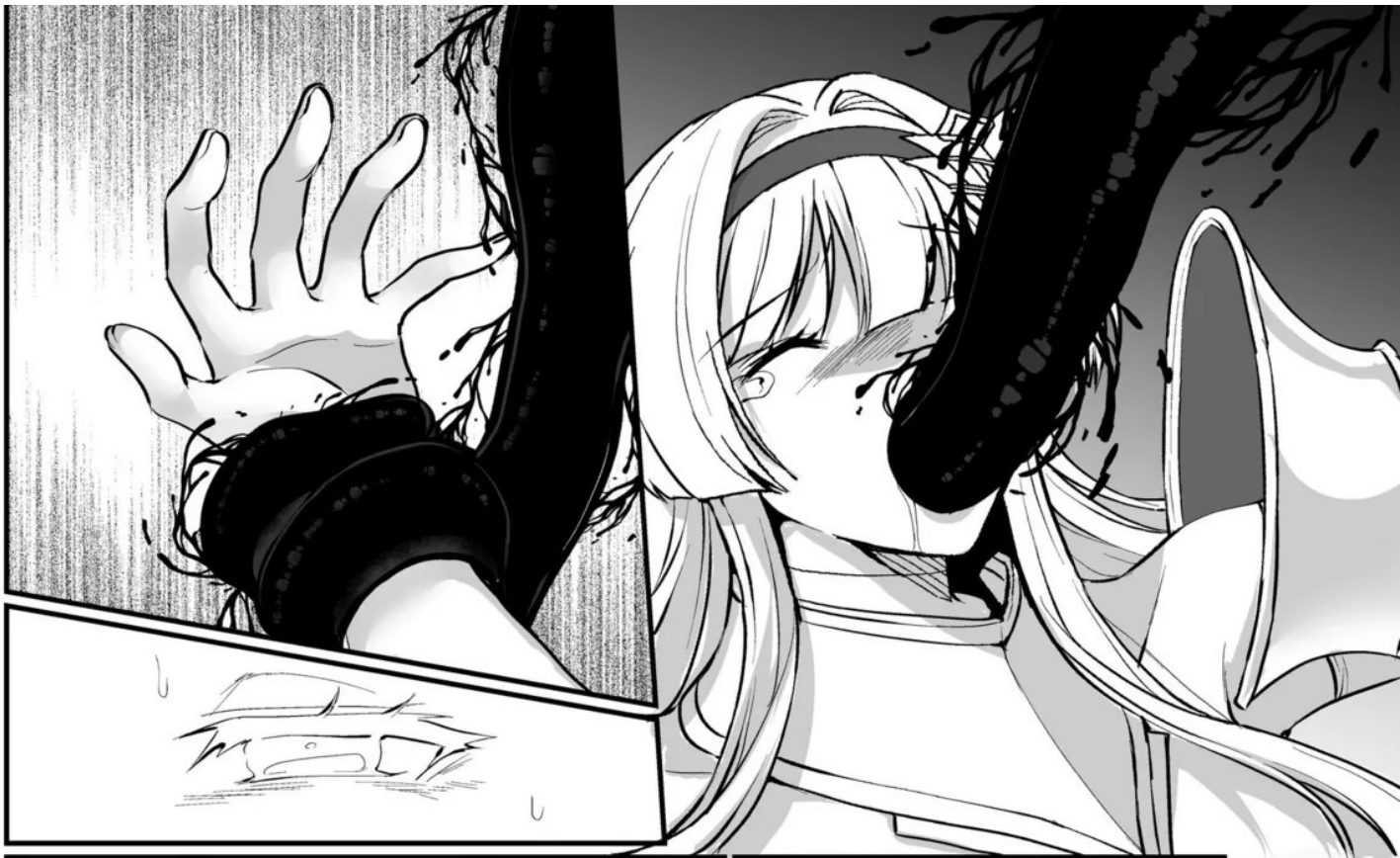


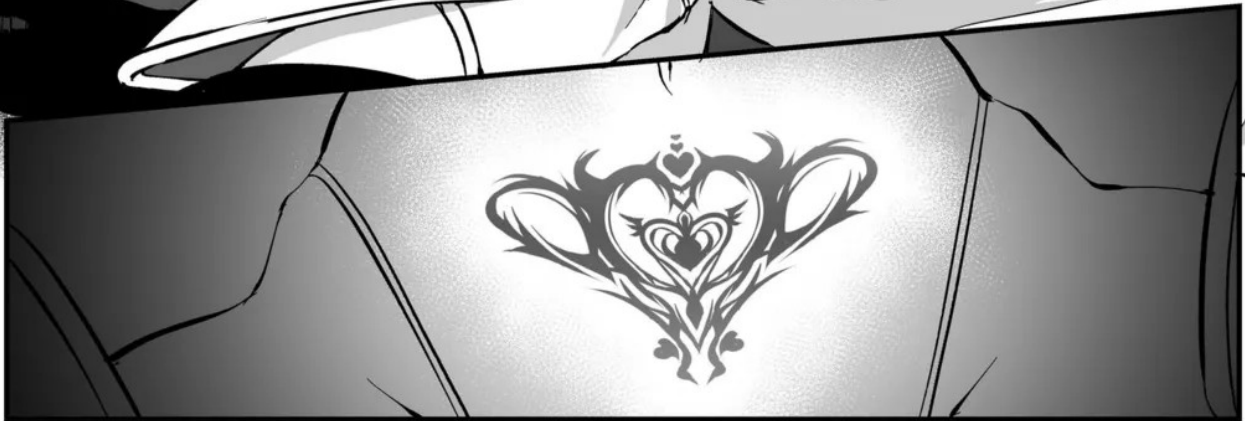


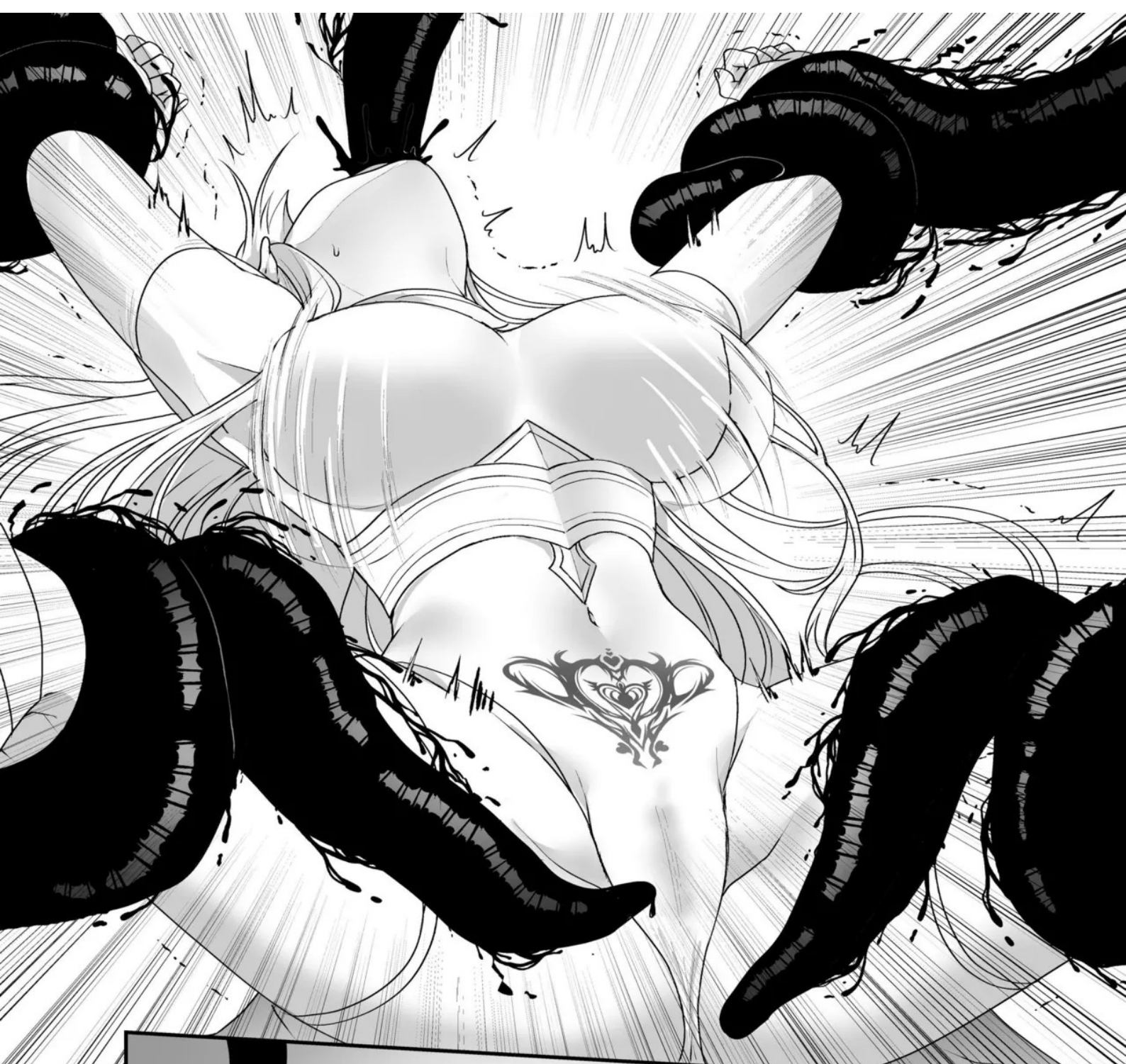




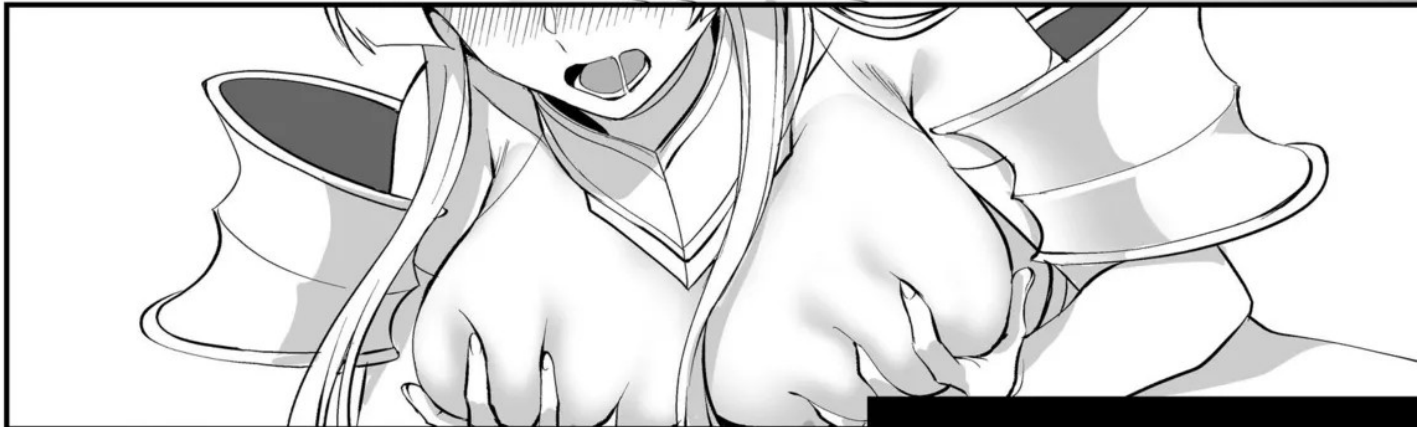
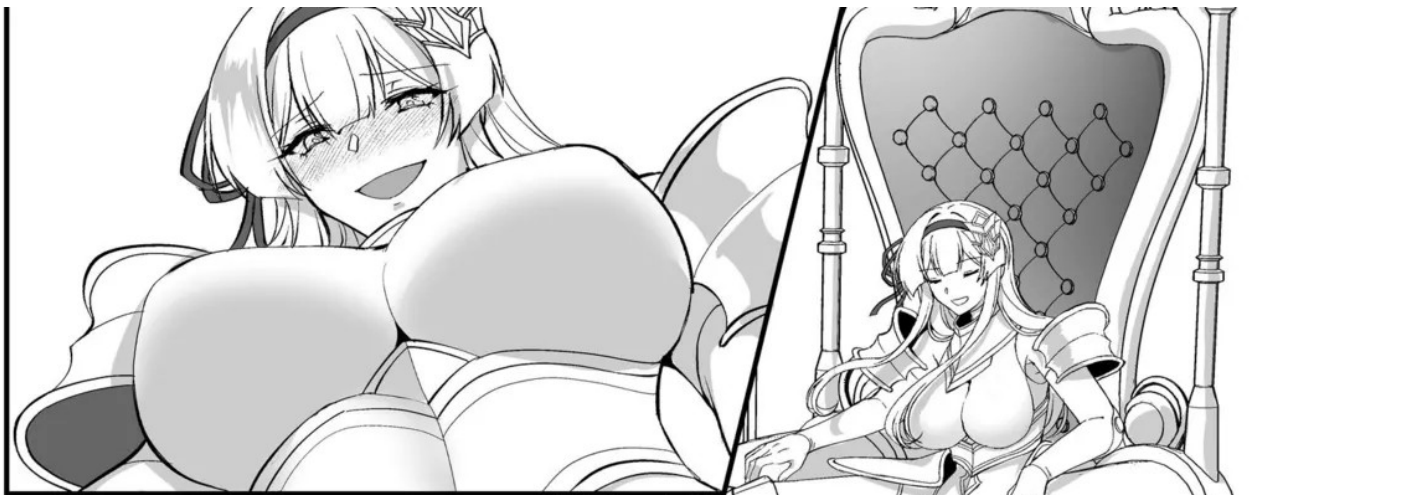


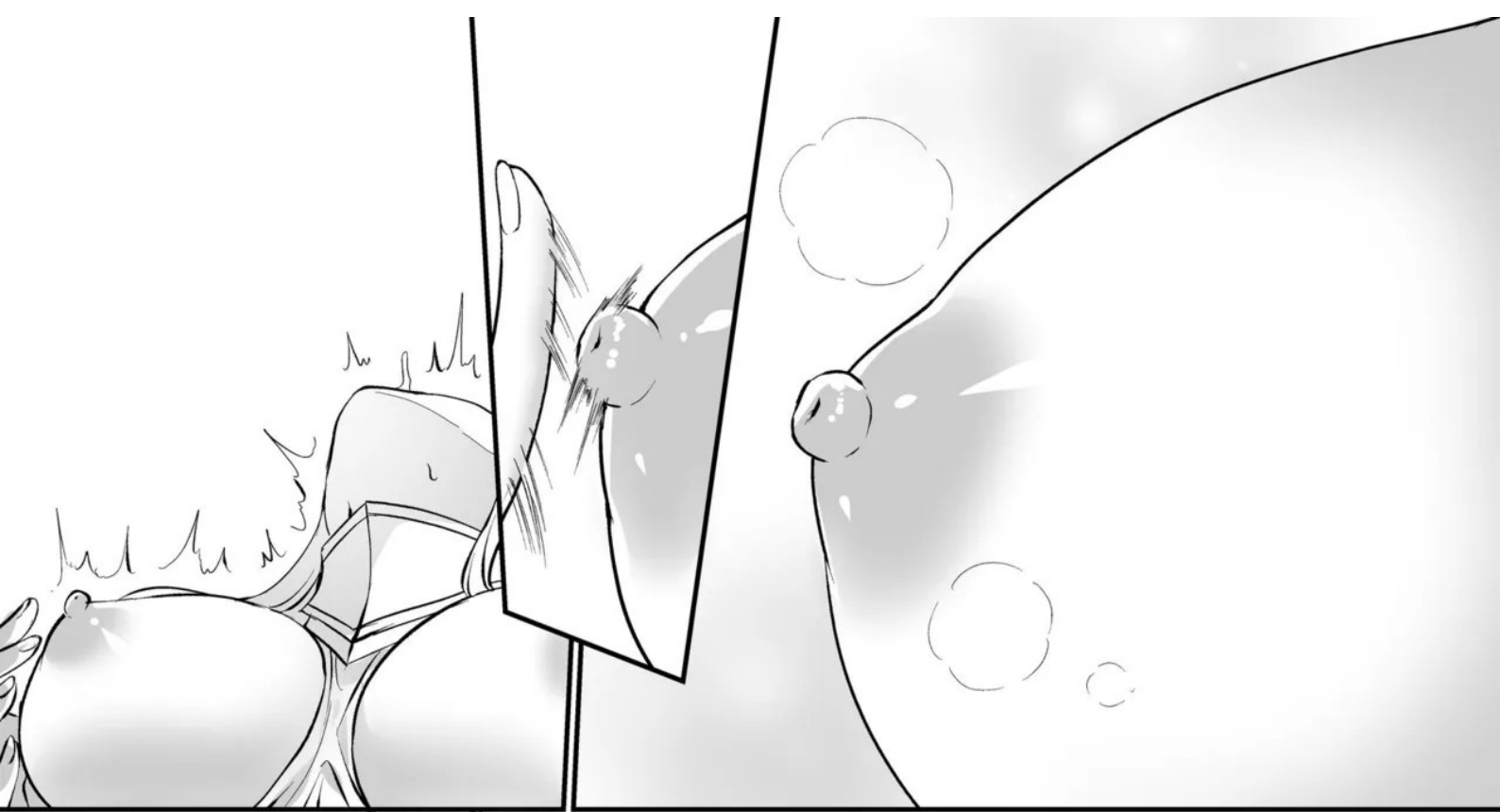


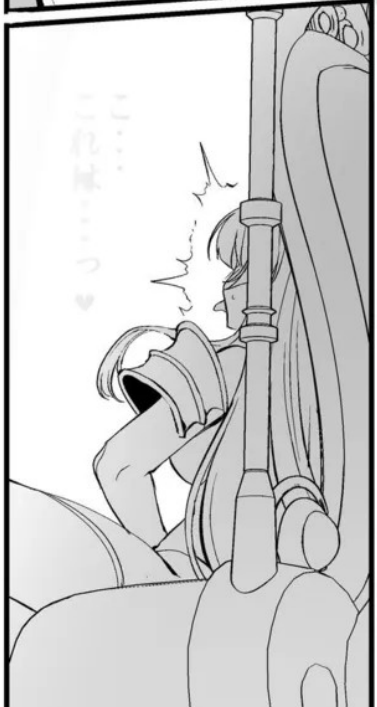
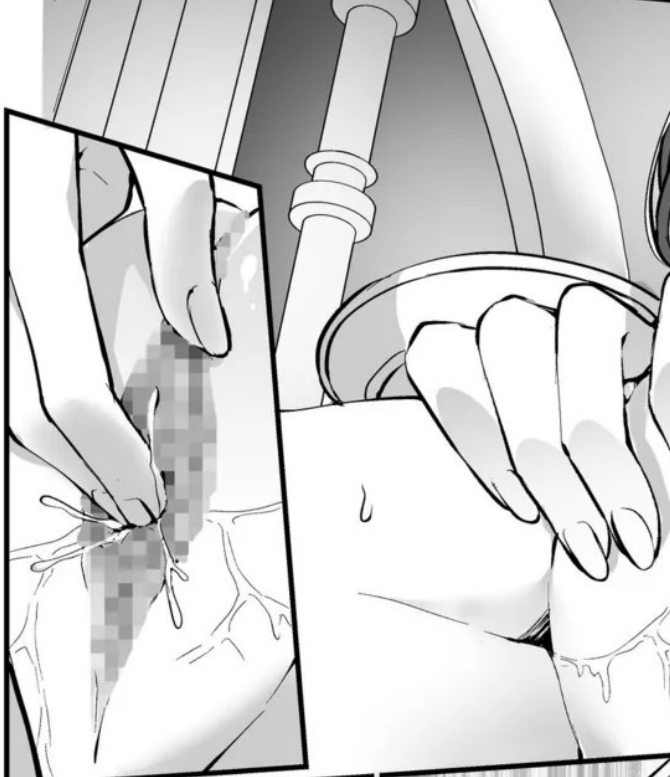








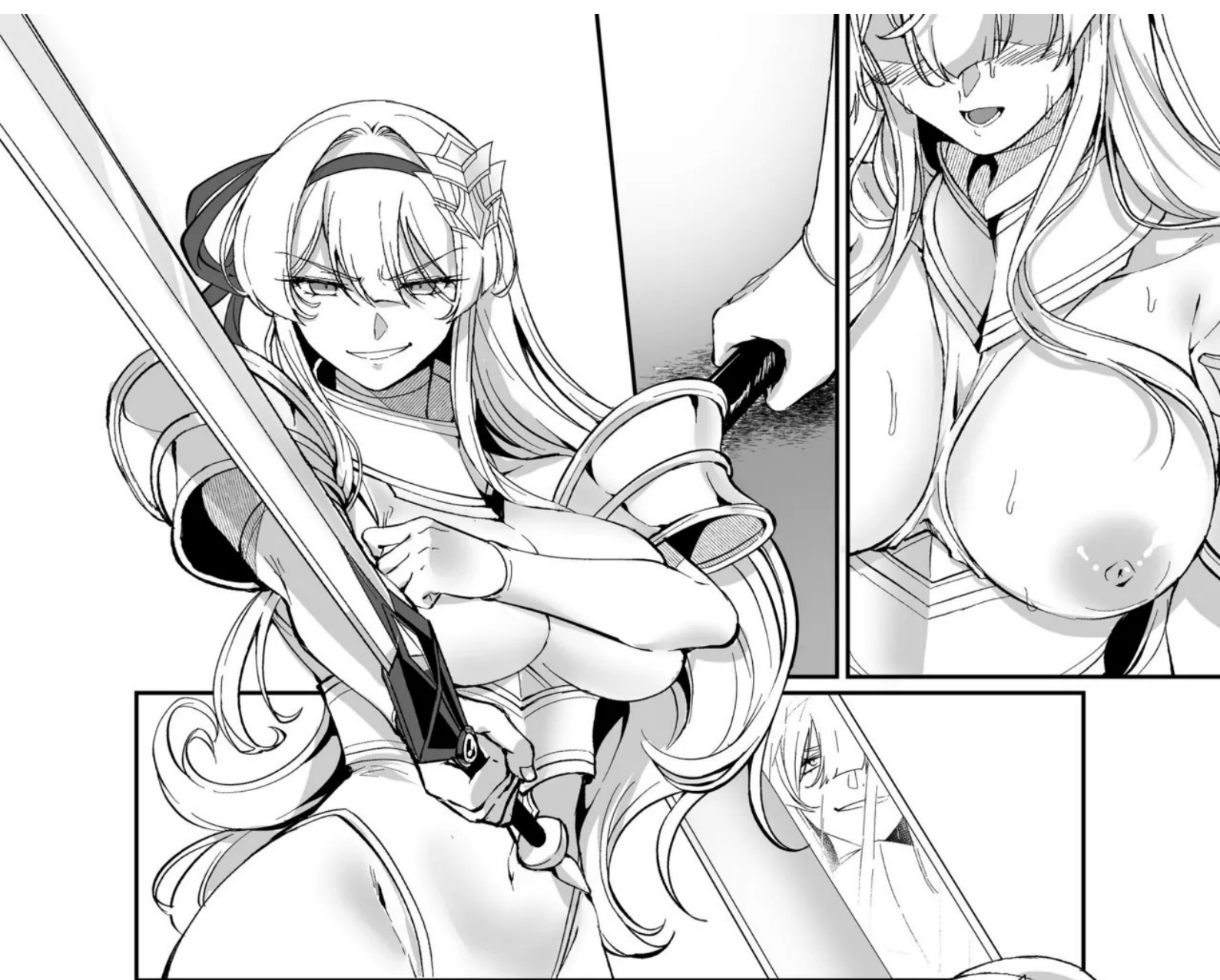


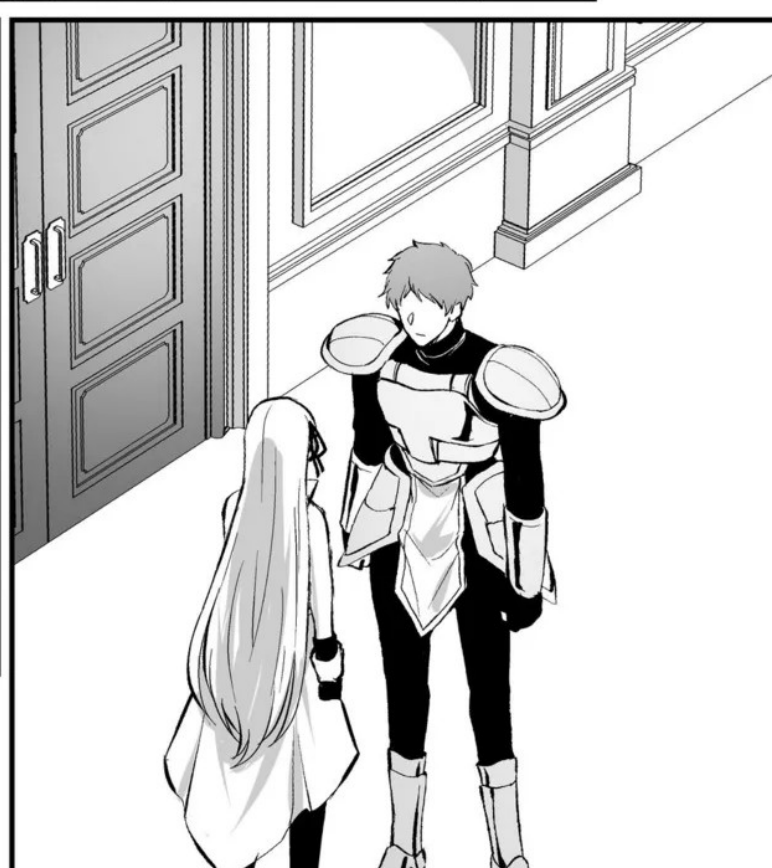
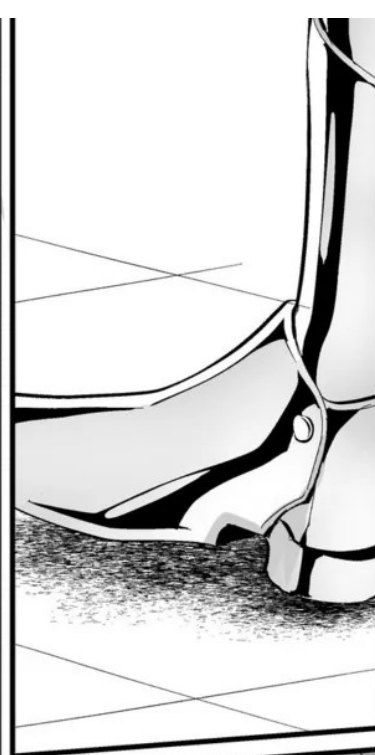


















♡♡  
M  
♡

